



# わたしたちは「ゆうしょう」しました！

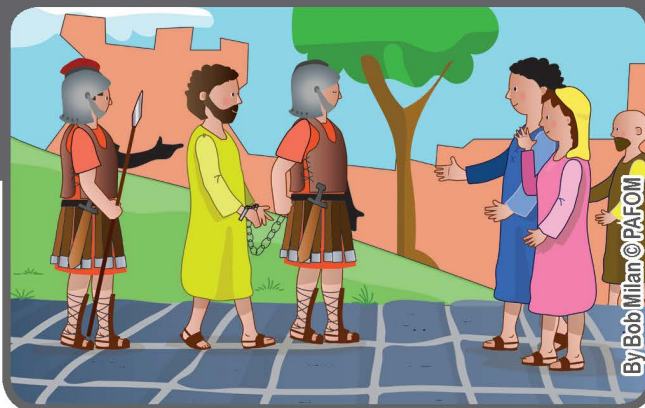


フォコラーレ

だれが、キリストのあいからわたしたちをひきはなすことができますよう。  
(ローマ 8・35)



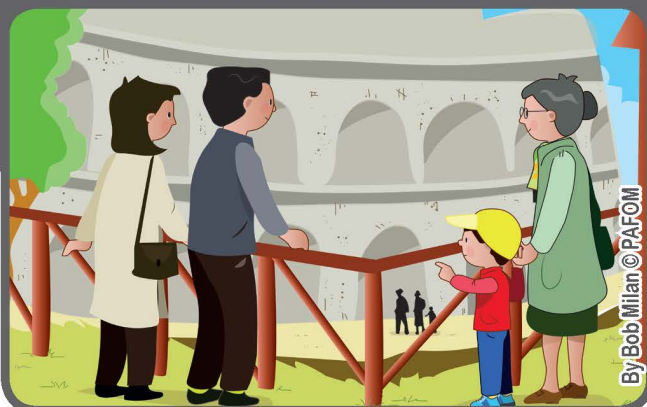
パウロはたくさんのたびをして、ローマにたどりつくところです。おなかですいたり、けがをしたり、ころされそうになったり、たくさんたいへんなことがありました。



パウロはかみさまはけっしてひとりぼっちになさらないことをあかししました。



ローマのクリスチャンたちに「わたしたちが、もしかみさまのあいにしんらいするのなら、わたしたちは「ゆうしょう」するひとよりもっとすごいのです」とてがみにかきました。



エドワルドはさいきんローマにひっこしました。あるひみんなでローマのコロッセオにいきました。エドワルドはおとうさんに「あのなかでなにがあったの？」とききました。



おとうさんは、むかしクリスチャンが、はくがいされていたとき、クリスチャンはあのなかでライオンにたべられたことをはなしてくれました。エドワルドはだまってきいていました。



エドワルドは、いえにかえっておとうさんとおかあさんにいいました。「イエスさまのために、ライオンにたべられてもいいよ！」  
エドワルドのけいけん